



12月7日(月)「令和2年度 大村中学校生徒会役員選挙」実施 第36代生徒会の新しい、そして、力強い5名のリーダーが決まりました!

大村中学校生徒会会則と生徒会役員選挙規約に基づき、令和2年12月7日(月)に「令和2年度大村中学校生徒会役員選挙」のための立会演説会をリモート放送で実施しました。この生徒会役員選挙は、第36代の生徒会長2年1名、副会長2年1名・1年1名、書記2年1名・1年1名の本校の新しいリーダー5名を選出する大切なものでした。

会長候補2名、副会長候補5名、書記候補3名の計10名の役員候補が立候補し、6日間に渡る熱い選挙運動を繰り広げると共に、選挙当日の立会演説会では、大村中学校をより良くしていこうという自分の熱い思いや考えを、しっかりと具体的に、力強く訴えてくれました。立候補してくれた10名のみなさん、そして、立候補者をしっかりと応援してくれた応援演説者10名のみなさんのこれまでの頑張りに、深く感謝しているところです。

そして、投票の結果、下に示す生徒達が新しい本校の生徒会役員として選出されました。私達の新しい5名のリーダーをよろしくお祈りします。そして、新しい5名のリーダーのみなさん、しっかり頑張ってください! みなさんの活躍を大いに期待しています。

良い学校を作るためには、力強い生徒会リーダーの存在と、そのリーダーをしっかりと支え、活動する生徒一人一人の協力が不可欠です。それが「チーム大中」の姿でもあります。生徒会リーダーのまっすぐな生き方が、周りに勇気を与え、そして周りを導く力に変わり、大村中学校の飛躍・発展につながることを切に願っています。第36代新生徒会役員のみなさん、そして今回の役員選挙に立候補してくれた生徒のみなさん、共に力を合わせて、もっともっと良い大村中学校を作っていきましょう。



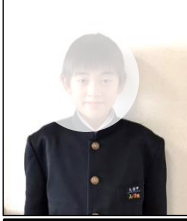
学習環境を整え、明るいワンストップ挨拶が飛び交う、過ごしやすい学校を作ります。また、行事を成功させることを目標に仲間との絆を深め、一人一人が他の生徒への心遣いを大切に、安心して学校生活が送れるように頑張っていきます。

生徒会長 川久保 龍成



私は、一人一人が積極的に考え、動くことで、みなさんの学校生活が充実し、楽しくなるような学校を作っていきます。精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。

2年副会長 道頭 奎依



学校全体を盛り上げ、生徒一人一人が毎日楽しく学校に行きたいと思える学校を作っていきたいと思えます。よろしくお願いします。

1年副会長 山口 統也



誰もが互いに認め合い、助け合うことのできる、さらに素晴らしい学校にしていきたいと思えます。よろしくお願いします。

2年書記 高月 柚里香



私は、この学校が今よりもっとより良くなるように生徒会で積極的に働き、生徒のみなさんが学校へ行きたい!と思えるような学校作りを目指していきます。私の中では、生徒会=大中の未来です。その大中の未来をしっかり背負えるよう頑張っていこうと思えます。1年書記 酒井 春奈



リモートによる立会演説会



6日間にわたって行われた選挙運動

これからのリーダーとは・・・

正解が一つではない時代を、まさに今、みなさんは生きています。そのような時代の中では、粘り強く思考する探究心・考え続ける力を身につけておくことが大切です。そして、様々な課題を解決していく時のチームを創る力。つまり、他者が考える視点・視座を持つことができ、何事も自分事として深く共感できる力(エンパシー)が重要だと言われています。



「社会に開かれた教育課程」具現化のための第2弾 大村市歴史資料館、大村市国際交流プラザから講師をお招きし 第1学年総合的な学習の時間「地域を知る」コース別学習に取り組みました!



12月4日(金) 第1学年では総合的な学習の時間を用いて「地域を知る」というテーマのもと、地域の有能な人材を生徒たちの授業に活用していくという視点から、大村市歴史資料館・館長 今村 明 様、学芸委員 川内彩歌 様、大村市国際交流プラザ 塚野マリナ 様、カーン・ファーガン 様の4名を講師としてお招きし、「大村市の国際理解」、「大村市の歴史」、「大村市と戦争」、「大村市とキリシタン」、「大村市の偉人」の6つのコース別学習に取り組みました。

講師の先生方からは、留学時の体験談や国際理解・異文化交流に対する考え方、そして大村市の歴史を様々な視点から深める貴重な授業をしていただきました。

生徒たちも、同じ大村の地に住む高い見識を持った先生方から直接学ぶ経験を通して、学習内容を大いに深め、今後の学習活動に活かしてくれることと思います。講師の先生方、大変お世話になりました。



講師 今村 明 様



講師 川内彩歌 様



講師 塚野マリナ 様



楠本正隆

明治時代に新潟県令、東京府知事となり、また衆議院長も務め近代都市計画に大きな功績を残した。天保3年(1838年)に玖島城下岩船に生まれました。



渡邊 昇

坂本龍馬から頼まれて、長州藩と薩摩藩の同盟に大きな働きをした。天保9年(1838年)4月8日、玖島城下岩船で渡邊巖の次男として生まれる。

全学年で道徳の授業「いじめられる人の気持ちをとことん考えてみよう！」実施しました。
 今回道徳の授業で用いた教材について少し紹介させていただきます。

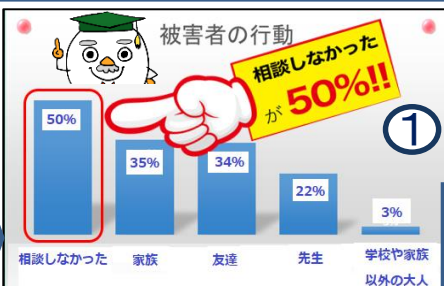
いじめを早期発見するには、いじめられている子が誰かに相談するのが一番良い方法だと思います。

しかし、統計的には教師に相談するのは、**6人に1人**なのです。

(右図① 相談しなかった50%)

このように、いじめられている子がまだたいしたことではないと思うときは、少々心が傷ついていても「このくらい我慢しよう。」「大げさに騒ぐと、もっと大変なことになる。」と、誰にも相談せず、一人自分の胸の中にしてしまうのです。

しかし、そこで終わればいいのですが、時には、それがさらにエスカレートします。そうすると、「今さら、人には言えない。」(右図②)と思い詰めてしまうのです。そういったいじめられる側の心理について深く考えてみようというのが、この教材のねらいでした。



相談しない理由

家族に心を開けたくない
 仕返しがこわい
 自分にも問題がある
 弱さを笑われたくない

では、相談できない、言い返せない、いじめられる子は弱い子なのでしょうか？



それは違います。人は誰でも攻撃され続けると、「弱く」なります。つまり、いじめられる子は、弱い子ではなく、弱い立場に追い込まれている子なのです。



一番弱いのは、人を攻撃することでしか自分を表現できない子、誰かを傷つけることでしか人とつながれない子 だと思っています。



まとめ

弱い立場に置かれた人が強くなれるための条件

- わかってくれる仲間がいるということ
- いじめはまちがっているという確信(=みんなの思い)

しかし、ほんのささいきっかけで、いじめられる子は強くなれます。たった1人でも、味方がいればいいのです。それが、1人ではなく、2人、3人と増えれば、強くなれるのです。

生徒のみなさんへ その1

異なる意見や立場、その背景を持つ人々と対話し、お互いがわかり合えるということは、とても時間もかかるし、なかなか簡単なことではないと思います。

しかし、だからといって、異なる意見や立場の人々を攻撃したり、排除することは、とても良くないことだと思います。また、その最たるものとしての「いじめ」は絶対に許されることではありません。

生徒のみなさんには、異なる意見や立場の人々とも、たとえ時間がかかろうとも粘り強く話し合い、たとえ同じ意見にならなくても、お互いの意見や立場を理解でき、尊重できる人になってほしいと思います。それは、様々な考え・立場の人々ともつながることができ、目標や課題を成し遂げるためのチームを築ける人になってほしいからです。このことは、これからの時代を生きるための大切な資質・能力でもあると思います。

そして、そんな生徒が増えていったとき、大村中学校から「いじめ」がなくなるのではないのでしょうか・・・。

校長より

誰かの悲しみを 一緒に分かち合える人になりたい。
 誰かの隣で 一緒に泣いてあげられる人になりたい。
 世界中の人を救う大きな力なくても、
 誰かの手を握ってあげられる 小さな力さえあれば、
 きっと誰でも、誰かの小さなヒーローになれるはず。
 令和2年も残り2週間 人としての自分のあり方
 クラスの仲間のこと、静かに考えてみましょう。

千一中大 思いを力に! (12月第3週の言葉)

生徒のみなさんへ その2 最後に生徒みなさんに次の詩を紹介します。

許すやさしさ 秋元 康 (あきもとやすし)

自分のだめなところを しょうがないなあと思いながら、僕は、だめな自分も好きだと思っている。
 まわりの人のだめなところを しょうがないなあと思いながら、僕はやはり、その人たちが好きなんだ。
 すばらしいところばかりをもった人間なんていない。
 すばらしいことだけが起るなんてあり得ない。
 誰もがみんな、どこかがダメで、愚かで、どうしようもないところがある。
 自分の悪いところも、相手の悪いところも、許してあげよう。



秋元 康プロフィール

1956年5月2日、東京都目黒区生まれ。作詞家、放送作家、総合プロデューサーなどの多様な顔を持つ。2000年代以降は、AKB48グループや坂道シリーズのプロデューサーとして、ほぼ全ての楽曲を作詞する。

この詩は、著書「勇気をあげよう!」(大和書房)から抜粋して紹介させていただきました。